国語　たしかめシート　三―①　　　　名前

**和語・漢語・外来語**

一　次の言葉の種類を、後のア～エから選び、記号で答えなさい。

　①　言語

　②　桑畑

　③　レポート用紙

　④　ポジティブ

ア　和語　　　イ　漢語　　　ウ　外来語　　　エ　混種語

**熟字訓**

二　次の平仮名の言葉を、漢字（楷書）で書きなさい。

　①　ことし

　②　えがお

　③　みやげ

　④　つゆ　　　　　　　　　　（六月頃の雨の季節のこと）

**熟語の読み方**

三　次の熟語の読み方を、後のア～エから選び、記号で答えなさい。

　①　仕事

　②　枠内

　③　頒布

　④　別棟

　⑤　居間

ア 音と音　　　イ 訓と訓　　　ウ 重箱読み　　　エ 湯桶読み

**漢字チャレンジコーナー**

①～④は　　　線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は　　　線部の漢字を楷書で書きましょう。

（⑤～⑧は送り仮名が必要な場合もあります。）

1. 心地よい風が吹く。
2. 田舎に住む。
3. 干潟が現れる。
4. 凄絶な戦いをする。

⑤ えんの下の力持ち。

⑥ 勉強にさしつかえる。

⑦ にぶい音がする。

　⑧ べんぎをはかる。

国語　たしかめシート　三―②　　　　名前

**文法―文節の対応**

一　次の文には、不自然な点があります。読みやすくなるように、　　　線部を文節や連文節の対

応を整えて書き直しなさい。

①　僕の将来の夢は、プロサッカーの選手になりたい。

　②　妹はいつもわがままを言って、母に困らせる。

　③　来週までに決めなければならないのは、掃除当番と、花壇の水やり係を決めなければなら

ない。

**文法―意味のまとまり**

二　次の　　の中の文は、二通りの解釈ができます。〈　　　〉の指示に従って、読点を打ったり表現を改めたりしなさい。

 原さんは野村さんと大谷さんに機械の使い方を教わった。

　①〈教わるのが原さん、教えるのが野村さんと大谷さんであるという意味に〉

②〈教わるのが原さんと野村さん、教えるのが大谷さんであるという意味に〉

**文法―呼応の副詞**

三　呼応の副詞に注意しながら、文の意味が通るように、　　　に当てはまる言葉を書きなさい。

①　たとえ反対されよう　　　　　 　、 わたしの意見は決して変わら　　　　　　 。

②　まるで、絵画の　　　　　　 夕焼けが美しい。

③　もし、明日が雨 、 試合は中止だ。

**漢字チャレンジコーナー**

①～④は　　　線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は　　　線部の漢字を楷書で書きましょう。

（⑤～⑧は送り仮名が必要な場合もあります。）

①　鶏舎にいる。

②　土地を分割する。

③　遺言をのこす。

④　これはとんだ代物だ。

　⑤　むじゃきな子供。

　⑥　ごうまんな態度。

　⑦　罪をにくんで人をにくまず。

　⑧　お昼のきゅうけいをとる。

国語　たしかめシート　三―③　　　　名前

**慣用句**

一　次の　　に　　　 から言葉を選んで書き、慣用句を完成させなさい。

　①　　　　に流す……過去のいざこざなどにこだわらない。

　②　　　　を持たせる……手柄や栄誉を相手に譲る。

　③　　　　の荷が下りる……心配事や責任から解放される。

　④　　　　をのむ……はっと驚く。

肩　　　　 金　　　　 息　　　　 花　　　　 鼻　　　　 水

**ことわざ**

二　次の状況に当てはまることわざを、後のア～オから選び、記号で答えなさい。

1. 先週、読書をした時間は、Ａ君が三十分、Ｂさんが二十分、Ｃ君が二十五分だった。

　②　先生にしかられたＤ君は、ずいぶんしょんぼりしていた。

　③　いつもはな演奏をするピアニストが、珍しくミスをした。

　④　をなくしたと思って必死で探し回っていたら、上着のポケットに入っていた。

　⑤　数学のテストを提出する前に、念には念を入れて計算ミスがないかどうか確かめた。

　　　ア　灯台もと暗し　　　　　　　　　イ　猿も木から落ちる

　　　ウ　石橋をたたいて渡る　　　　　　エ　青菜に塩

　　　オ　どんぐりの背比べ

**古文―枕詞**

三　次の和歌で使われている枕詞に、　　　線を引きなさい。

①　**春過ぎて夏来たるらし白たへの衣干したり天の香具山**

②　**ひさかたの光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ**

**漢字チャレンジコーナー**

①～④は　　　線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は　　　線部の漢字を楷書で書きましょう。

（⑤～⑧は送り仮名が必要な場合もあります。）

①　亡き祖母の面影をさがす。

②　この場所に来ると心が和む。　　　　　　　 む

③　彼女はだれにでも慕われる人だ。　　　　　 われる

④　氏より育ち。

　⑤　てさげかばんを持つ。

　⑥　部活動のこもんの先生。

　⑦　それは目のさっかくだ。

　⑧　夕日にはえる街並み。

国語　たしかめシート　三―④　　　　名前

**文法―助動詞の意味**

一　次の　　　線部の助動詞と同じ働き・意味のものを、ア～ウから選び、記号で答えなさい。

①　この電車は間もなく発車するそうだ。

　　ア　今にも雨が降ってきそうだ。

　　イ　今年の夏は暑くなるそうだ。

　　ウ　お菓子をもらった子供はうれしそうだ。

　②　明日は雪が降るらしい。

　　ア　彼は男らしい人だ。

　　イ　そのアイデアはすばらしい。

　　ウ　ここには古代都市があったらしい。

**古文―重要古語**

二　次の古文は清少納言の「枕草子」の一部です。　　　線部の意味として正しいものを、ア・イから選び、記号で答えなさい。

1. **春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて……**
 ア　やっとのことで

イ　だんだんと

②　**……霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火などいそぎおこして……**

　　　　　ア　そうでなくても

　　　　　イ　新しいものでも

**文法―品詞の識別**

三　次の　　　線部の品詞として正しいものを、ア・イから選び、記号で答えなさい。

　①　道がわからない。　　　ア　形容詞　　　　イ　助動詞

　②　地図もない。　　　　　ア　形容詞　　　　イ　助動詞

**漢字チャレンジコーナー**

①～④は　　　線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は　　　線部の漢字を楷書で書きましょう。

①　秘密を暴露する。

　②　出来事を克明に説明する。

　③　委員が罷免される。

　④　荘重な音楽が流れる。

　⑤　この作品は文学史上のけっさくだ。

　⑥　抽象的ながいねんを説明する。

　⑦　路線がはいしされる。

　⑧　その計画はあまりにむぼうだ。

国語　たしかめシート　三―⑤　　　　名前

**古文―重要作品**

一　次の①～⑤は古文作品の一部です。作品名と、作者が明らかなものは作者名を答えなさい。

①「**月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。…**」

　　　作品名　　　　　　　　　　　　　　　 作者名

　②「**夏は夜。月のころはさらなり、闇もなほ、蛍の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。…**」

　　　作品名　　　　　　　　　　　　　　 作者名

　③「**ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。世の中にある人とすみかと、またかくのごとし。…**」

　　　作品名　　　　　　　　　　　　　　 作者名

　④「**つれづれなるままに、日暮らし、硯に向かひて、心にうつりゆくよしなし事を、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。…**」

　　　作品名 作者名

　⑤「**今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきのみやつことなむいひける。…**」

　　　作品名

**四字熟語**

二　次の熟語の　　　に　　　　 から言葉を選んで書き、四字熟語を完成させなさい。

　①　一朝　　　　　　　　　……ほんのわずかな時日。

　②　前代　　　　　　　　　……今までに聞いたことがないような珍しいこと。

　③　　　　　　　　　自賛　……自分で自分のことをほめること。

　④　　　　　　　　　晩成　……大人物は大成するのに時間がかかること。

　　　 自画　　　　未聞　　　　日進　　　　一夕　　　　万来　　　　大器

**漢文―書き下し文**

三　次の漢文は「論語」の一部です。書き下し文に直し、漢字（楷書）と平仮名で書きなさい。

　 ビテ　　　　　 ニ　　　 フ これ ヲ　　　　 ず　　 また よろこ バシカラ　や

　**学 而時 習 之 、不 亦説 　乎**。

　　　　　　　　　　レ　　　　　　　　二　　　　 一

　　 リ とも よ リ　　　　　　　　　 タル　　　　　　　　　　　 シカラ

　**有 朋自 遠方 来 、不 亦楽 乎**。

 下　　　　二　　　　 一 上　　　　 二　　　　 一

**漢字チャレンジコーナー**

①～④は　　　線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は　　　線部の漢字を楷書で書きましょう。

①　この服のデザインは斬新だ。

　②　反物を買う。

　③　名簿を作る。

　④　真摯な態度を示す。

⑤　歳末助け合いのぼきんをする。

⑥　この問題はいぜんとして解決していない。

⑦　何事もきそが大事だ。

⑧　情報をひとくする。